

【有識者による事務事業点検の評価】

「飛島村教育委員会に関する点検と評価報告書」の意見聴取会のまとめ

《招集年月日》 令和元年6月28日（金）

《招集の場所》 飛島村中央公民館 3階 第2会議室

《開会》 午後1時57分

《閉会》 午後4時03分

《点検評価委員》

元名古屋女子大学 文学部 講師 伊藤 勝康 氏  
名古屋芸術大学 人間開発部 准教授 溝口 哲夫 氏

《欠席委員》 なし

《職務のため出席した職員》

教育長	田宮	知行
教育部長	佐野	まゆみ
教育部次長	森	敦睦
教育課長	奥村	義明
生涯教育課長	河村	泰
図書館長兼プール館長	早川	清司

《委員会議事内容及び経過》

別紙の通り

## 別紙

### 《委員会議事内容及び経過》

- 1 教育長あいさつ
- 2 教育委員会に関する点検と評価報告書について
- 3 意見聴取

**委** 教育指針については、第4次の総合計画、教育大綱を基に、将来を見通したものとなっており、特に「国際的な視野、グローバルな視点でふるさと飛島を考える」という点は、とても大切なことで、大変感心しております。個人的な意見ではありますが、「村民憲章」にも国際的、グローバルな視点を盛り込むことができないでしょうか。

教育事務の点検と評価については、PDCAのサイクルを使い、より良いものを求めていくという姿勢がとても立派だと思います。村民の皆さんからのご意見も生かしていただくとうれしいと思っております。

**委** 「未来を切り拓く力の育成」について、ねらいや意図、特に力を入れて取り組まれてきたことをお聞きしたい。また、義務教育学校開校に向けて取り組まれているとのことですが、最も課題とされてきたこと、保護者や子どもたち、住民に対してどのような説明をされているのか教えていただきたい。

**部** 村民の方々の意見については、評価報告書等をホームページでも公表し、具体的な指摘もいただき、よく目を通していただいていることを実感しています。

「未来を切り拓く力の育成」については、11月に学園で行われる研究協議会のテーマにもなっております。

**長** 一貫教育は、村長の思いもあり、県教委の指導のもと平成22年度に開校し、現在に至ります。一つの施設で1年生から9年生までが生活し、系統性をもった継続的な一貫した指導をすべての学年で目標に取り組んできましたが、小学校と中学校が強いつながりをもった教育活動を常に行っていくことは難しかったです。そういった点を少しでも改善するために、平成28年の法律改正で認められた義務教育学校を開校し、子どもたちが15歳の時に、知徳体のバランスが取れ、確かな未来を拓き、郷土（飛島）に誇りを持ち、自分の気持ちを自分の言葉で表現できる確かなコミュニケーションをとることができるように成長していることを願い、校長を中心とした全職員で教育活動に取り組んでいくことが大切であると考えました。先生方にはことあるごとに機会を設け、保護者の方にはPTAの総会の場で、子どもたちには校長からお話をしています。平成22年に小中一貫校が開校した時とは違い、劇的な変化はありませんが、校長一人体制、一つの組織、学園の教職員全員が子どもたち全員の成長を見ながら取り組んで行くことが願いであります。これからも十分に自覚をし、進めて行く準備をしていきたいと思っております。

**委** いろんなことを説明しようと思っても難しいだろうという気がしていて、現実のところをお聞かせ願いたいと思ったところです。

**長** 名称は、「飛島村立飛島学園」としようと思っております。村民の間でも、海部地区でも「飛島学園」が浸透しているので、それを大事にしたいというのが村長の考えです。義

義務教育学校となり、校長が一人となって実際に学校を運営していく場合、中学校の進路指導、生徒指導、部活動の関係で、校長は中学校に籍を置かないと困ることが多いということです。

**委** 教育委員会でも協議をされ、来年度から義務教育学校にするという英断をされたというのが率直な感想であります。県教委は、校長を一人にし、勤務する先生は小中の両方の免許を持っていることと言いますが、実際に配置することは難しく、「このようなメリットがありますよ」「小中一貫教育と義務教育学校はどう違うのか」という説明も難しいと思います。小中一貫教育で10年が経ち、次の一手としての「義務教育学校」のデメリット、課題の解決に向け努力してください。

**長** 義務教育学校では、原則として小中の免許を併有した人が配置されるべきだと言っていますが、しばらくは仕方がないとしても、最終的にはそれが必須だと思います。難しいのは、海部地区の場合は7市町村で一つの連合体を組み、人事を行っています。西尾市では、西尾市教育委員会の中で全部完結していくことができました。飛島村では、県教委の方にもお願いしながら、7市町村との中で行っていくのだから、飛島村が義務教育学校だからと言っても難しいと考えます。

**委** 海部津島で、先人切って義務教育学校を開校するから、飛島村には小中の免許を持った教員をとにかく配置してほしいと、頑張っていたきたい。

**長** まずそれがひとつですね。

**委** 丹葉（丹羽、葉栗）の学校が一宮市に編入という時に、人事は、希望制だったのです。苦肉の策で行ったのです。条件は違うと思いますが、委員がおっしゃるように、人事のことは難しいでしょうね。

**部** 先程、説明があったように、28年度に義務教育学校が認められ、10年を区切りに義務教育学校に向かいます。村長の意向にも添った部分があり、進んでいるところです。

**委** 村長さんにも頑張ってください、条件整備を進めていただきたいですね。

**長** 事務所の所長さんや指導課長さんにもこちらの要望を話しながら、さらに進めていかなければと思っています。

**委** 小中一貫教育の充実で、英語教育始め、手厚い支援をしていただき、着実に成果が上がっているように思います。その小中一貫教育の成果をどのように把握してみえるのか。もう一つは、9年間の教育課程を教科横断のようにしながら組みなおしていくという計画があるのかどうか。

**次** 学園で秋の発表に向け、各教科の関連、1年から9年までの系統表というものを作って進めています。ご存じのとおり海部カリというのがありますので、それも大事にしながら、9年間の系統表作りを進めています。

**委** 9年間の中で、いろんなことができるのだなという反面、これを変えようと思うと大変だということもありますが、せつかくですので、新しい教科とか体験のようなものを試験的にでも公に出し、子どもたちの学習意欲を引き出して行けるとよいと思います。

**部** 1年生の村探検から始まり、2年生は農業、3年生は臨海部の木材関連の企業、5年生は三菱重工業の出前授業、コンテナクレーンの見学など、地域と学園が結びついた授業を行っています。また、6年生は南種子町との交流、8年生はアメリカに海外研修、9年生は広島での平和教育があります。6年生までに飛島村のことを学び、8年生まで

には飛島村を紹介できるようになり、9年生は、世界とかかわりをもって平和を下級生に伝えて行きましょうという流れで取組を進めています。このように、9年間を見据えた取組を行っています。

**委** おもしろい取組です。今、伺っていると、仮に地域科というような教科のようにして、地域とこのように係わらせて9年間行っているとも言えます。

**長** 新しい教科ということではなく、総合的な学習を見直し、系統的にしていく。村とのタイアップ、系統性を考えながら研究を進めてもらっています。義務教育学校になれば、学校、教育委員会で教育課程を組み、時間数の調整もできますので、英語も1年生から9年生までのつながったものにしたいと思っています。できるだけ小学校での英語教育を充実させながら、6、7年生につなげて行き、8年生での海外研修に向け、英語に少しでもなじみ、外国人とも物怖じせずにコミュニケーションのとれる子を育てていきたいと思っていますところ です。

**委** 学習指導要領全面改定にともない、総合的な学習の時間も一時のような華々しさはなくなっ てはきていますが、そこを充実させ、一本筋を通すと良いかもしれない。

**長** そういう思いをもって学園、村教育委員会、指導主事の協力で進めて行くということ です。それから、学力学習状況調査につきましては、結果を真摯に受け止め、対策を検討 しています。

**委** こんなに手厚く支援していただいている教育委員会はまずないですよ。非常勤の先生、 カウンセラーの先生だとか、環境を整えていただいていますので、きっと子どもたちの 学力、学習意欲も高いのではないかなと思うのです。

**長** 学力向上、定着は大きな目標でもあります。地道に頑張っていきたいと思っています。

**委** 登校渋りとか不登校、問題行動については、増えつつあるという話でしたが、世界保 健機構が、ゲームによる障害を認めたいみたいですが、飛島村でもゲームによる障害とい うようなことはありませんか。また、小学生がランドセル、手提げ等が6キロ、7キロに なり、ほんとにかわいそうだなと思います。文部科学省からの指示もありました。その あたりはどうでしょうか。さらに、飛島村では不審者の問題は起きていないでしょうか。 子どもを守るという観点から、ゲーム、ランドセル、不審者のことなどについて教育委 員会から学園への指導、動向を伺うなどのことはありますか。

**次** 登校渋りでは、教育委員会、すこやかセンターの職員、カウンセラーが参加し、ケ ース会議を行っています。現在の姿を基に理解をするのですが、それぞれで抱えているも のが違いますので、小さいころから関わっていただいている方々からの情報を頂いて理 解と支援のための取組をしています。極端に言えば学園では9年間の関わりですが、保 護者さんは一生付き合うことになるので、保護者さんへの支援も色々な機関から意見を いただいて進めているところ です。ネット依存のように見受けられる子もいます。

**部** ランドセルについては、すでに使用頻度の少ないものは学園に置いた状態になってい ます。書道の道具や水彩画の道具、辞書類は置いていっていると聞いています。

**委** 不審者の件はどうですか。

**教** 過去にはあったかと思いますが、最近は何聞いておりません。臨海部に企業を抱えてお りますので、村外、県外からの通勤者の交通量が非常に多いため、登下校の行き違いと かはないとは言えない状況です。

部 何かありますと保護者から情報があり、学園と確認を取りながら対応しております。

総務課には警察OBの方がみえますので、巡回や見守りをさせていただいております。

委 防犯カメラはどうか。

部 昨年 50 基の防犯カメラを設置しましたが、そのうちの半数は通学路につけていただいております、抑止効果はあると思います。

教 過去にも行っていましたが、地域で子どもを見守るという観点から、再び同報無線での呼びかけを始める方向で進めています。

委 ふるさとフェスタや宝くじのおしゃべり音楽館の参加者が多く、うらやましく感じました。小学生、中学生の合唱、演奏などは学校教育でも取り組んでおり、地域でも発表できる場を作っていただけると良いと思います。次に生涯スポーツ、社会体育の団体活動の助成についてですが、競技の技能を高めるだけでなく、精神的な成長も願い、もっと子どもたちに部活動をやらせてあげたいと思う先生もいるのではないかと考えると、地域の受け皿をどう組織するのか、地域スポーツクラブ、体協スポーツ少年団といったところで知恵を絞っていただいて機会を作ってもらえると良いと感じております。文化の伝承も難しいかもしれませんが、神楽太鼓、獅子舞など是非、発表の場を設けていただけると良いと思います。ふるさとフェスタでもされるのですよね。

生 参加していただいております。8月にあります夏まつりの方でオープニングを飾っていただきます。過去にはいろいろな式典等にも御参加いただいております。

委 是非、火を消さないようにしていただきたいと思います。

文化施設、体育施設管理運営のところで、利用者の安全とか利便性の確保ということでご準備いただいているなどと思います。それと同時に、自然災害の避難場所ということでは、文化施設、体育施設、これを視野に入れてみえるのかな。

生 各地域、独立した避難所、津波対策避難所が8つ計画されており、そのうち7つは完成しております。その他には、こちらの総合体育館ということになります。

委 村民の皆さんの数だけは何とかなっていますか。

生 夜間人口が中心の、旧農村地域の部分で8カ所に皆さんが集まるという想定で造られております。

委 学校のプール開放が管理、監視の観点からどんどん少なくなっていると新聞でもありました。おそらく飛島村の温水プールを頼りに来られる方が多くなると思います。維持も大変だと思いますが、何とか温かくお迎えしていただき、よろしく願います。また、社会体育の団体活動の助成費で、経費、組織、体制作りでご支援いただいていることを資料から読み取ることができました。この前も、女性のインディアカの「飛翔」が世界大会に行くとなりました。老人クラブの新聞でも、高齢者にグランドゴルフ、障害のある人だとボッチャの人気があるとありました。是非、高齢者の方の健康づくり、健康寿命を延ばすという意味でも、高齢者の方にも参加ができるものを考え、実践していただきますようよろしくお願いいたします。

図書館の管理運営につきまして、指定管理導入というお考えはないですか。

☒ 図書館は指定管理はやらない方針です。29年度に大規模改修工事と同時に、プールで指定管理を行ったらどうかと考えておったのですが、やらないという状況になりました。

委 指定管理をすると、メリット、デメリットがあり、民間に任すといろんなアイデア、

サービスが出てくるということを期待しながらのことなのでしょうけれども、今の状態で十分やっていけるのだということなのですね。

☒ 一度見直したらどうかということ、言われたのですが。

委 自分の地域の図書館は指定管理になりまして、100冊毎月希望を出せば、図書館司書の方が探してくれて、100冊持ってきてくれるのです。

☒ 宅配サービスというものが、そんな感じですね。

委 指定管理にした場合のメリット、デメリットあるでしょうけれど、どうなのかなと。

☒ 村の図書館、地域に根ざした図書館ということで。

委 分かりました。国際理解では、中学生の海外派遣、リオビスタとの交流があり、英語教育の充実ということで、確実に成果が上がっていると思います。英語を使ったり触れたりする機会を作っていただいております、ペーパーテストで点を上げるというだけでなく、教育長さんが言ってみえた、外国人を見ても避けようとせず、むしろ積極的に話しかけて行こうとする子どもたちがどんどん増えれば、それはもう大成功じゃないかなと思います。

長 実際に、小学生が中学生に対して英語で話をしてみようという、イングリッシュタイムという取組が進められています。今回のリオビスタとの交流で学園に来ていただいた時に、その姿が現れていました。

生 6月半ばに、リオビスタから10名の中学生と大人の方が2名、お越しいただきまして、学園を訪問させていただいた時にも、3、4年生が生徒さんたちを取り囲んで何の違和感もなく普通に触れ合っていたことを見て、帰りも遠回りして触れ合ってくださいました。英語アレルギーということはないのではないかなということを感じました。

委 すごい成果ですよ。うらやましい限りです。ありがとうございました。

委 私からお話させていただきます。まず、英語についてですが、大学のセンター入試も変わってきています。高校ですと推薦の項目に英検があります。飛島村のように9年間通して英語を続けることでレベルアップし、自分の進路に今後ますます大きくプラスになると伝えていただくと、もっと英語に対する興味・関心がわくのではないかなと思います。それから、国のスクールサポートスタッフ配置支援事業ですが、私どもの大学のある北名古屋市では中学校に配置しました。時給800円です。うちの大学の卒業生を紹介しましたが、彼に聞いたところ、パソコンを使ってプリントや会議資料作りをし、先生方に好評だそうです。その子は部活の補助、放課後子ども教室のアルバイトなども重ねています。飛島村でも、そんな人材を確保するとよいのではないかなと思いました。いじめ・不登校の問題ですが、小・中学生のいじめ、不登校よりも、青年から40、50代のひきこもりの問題が大きくなっていて、教育委員会と福祉部の家庭支援課が一緒になって支援対策事業を始めました。小学校の不登校の子が、中学校、高校でも不登校になる。その一連の動きが、見えて来たのです。警察、児童相談所、職業安定所、その他もろもろの関係者を集め、主に就職支援に力を入れ、横のつながりをもった対策をされています。それから生涯スポーツの関係で、中学校の部活動とスポーツクラブとが全く相反する形となっており、スポーツクラブの方たちも頭を悩ませてみえる。これからは、社会スポーツというものが受け皿になって行かざるを得ず、中小体連や連盟の問題もありますが、国全体で考えて行かないといけない問題です。名古屋市では小学校の部活動廃止

と新聞に出ていましたけど、これからは中学校でも全入制でなくて希望制で、社会スポーツに入って活躍している子たちも大会に参加できるというような方向に向かっていくべきではないかと思っています。それから、国際理解のことについて、飛島村ではリオビスタとの交流、海外派遣などすごいと思います。しかし、最近、一般によく言われる大学生の内向き志向、留学をしないなど確実にそうなっていると思います。飛島村では、必ず中学生でアメリカにいらいますので、高校に進み、大学に進んだ時に留学してみようかなという若者に繋がっていくと思います。

**生** 実を言いますと、海外派遣をきっかけに、英語の高校に進んだり、英語の大学に進んだり、自分も携わりたいということで役所に入るといったこともございます。

**委** 例えば中学生だけじゃなくて、さらにその子どもたちが大きくなって学びたいと言ってリオビスタ市民を受け入れるとか。何かの形で返事をしていくとか。

**生** 実際に、中学生とのやり取りはあります。お話を伺っていると、大人とも交流をしたいとありますが、国際交流協会等ありませんので、そこまでの受け皿が準備できていないのが現実です。

**委** そんなふう発展すると良いなと思いましたが、ありがとうございました。

**教** 大変貴重なご意見をありがとうございました。教育長よりお礼のあいさつをお願いします。

#### 4 教育長 お礼